

5月16日（木）、あおぞら・たんぽぽ・ひまわり組で国語科の努力点公開授業が行われました。単元は「相手に分かりやすいように、案内の手紙を書こう」です。運動会に向けて、友達や家族に案内の手紙を書く学習です。この単元の最後には、ポストに投かんをすることになっています。



【四字熟語の掲示】

あおぞら・たんぽぽ・ひまわり組の国語科では、初めに、四字熟語の学習をしています。また、語彙を増やすために、教科書や生活の中から言葉を集めています。集めた言葉は付箋に書いて、「ことばの木」に貼ります。集まった言葉は、短文作りや感想文などで使います。特別支援学級では、こうしたルーティンを大切にしています。こうすることで、「これから国語の授業が始まるぞ」という気持ちが切り替わります。



【「ことばの木」の掲示】

次に、手紙の学習に移りました。前回までに、運動会があるのは「いつ」「どこで」について確認したので、今回は、「何をするのか」について考えました。3年生から6年生までの児童がいるので、4種目の競技と短距離走についてそれぞれで考えました。まずは、練習として、全学年にある「短距離走」についてみんなで考えました。

競技について、より伝わるように、どんな言葉を入れるとよいかを問いました。すると、児童から、「元気よく」「頑張って」「本気で」といった言葉が出てきました。教師が「そんな言葉を入れるとよく伝わるかもしれないね」と話しました。児童は、もっとたくさんの言葉を考えようと思いました。

最後に、児童は、それぞれの学年の競技について考えました。まず、競技で何をするのかを考えました。児童は、「走る」「引っ張る」「投げる」などの動作を表す言葉を出しました。次に、詳しく伝わるような言葉を考えました。児童は、「かっこよく」や「すばやく」などを考えましたが、中には「ことばの木」を見て、言葉を探す児童もいました。



【「ことばの木」から言葉を探す児童】

この学習では、一人一人が出場する競技が異なるため、それぞれで言葉を考えなければなりません。また、手紙を書く相手も一人一人です。このように学習の個別化を図ることで、児童が目的をもって学習に取り組むことができます。また、みんなで協働的に言葉を集めた「ことばの木」は、自分だけでは思いつかない言葉を見付ける助けになります。このように、協働的に学習を進めることで、学習効果が高まると考えます。